

退任するに当ってのご挨拶

ガバナー 中西 正二

この一年、過ぎ去って見ますと、全くアッという間でございました。その間、地区内全クラブの会員皆様から、あたたかく見守っていただき、時には大変だろうなああと同情のお言葉もあり、またはげましてもいただきまして、ほんとうに有難く厚くお礼申し上げます。

振り返って見ての私の感想は、一言で申し上げますならば「しとげたことの少くて、し残しのみが多かりき」だったと思います。勿論ロータリーの生命は永遠でありますので、わずか一年で何もかも完成出来る筈もないと片や自らを慰め、同時に次代の皆様が全うして下さるものと期待をいたしております。

今年度は先ず国際ロータリーのテーマをふまえ、ロータリーの原点であります奉仕活動の主役は、全員個人にあるということを強調して参りました。そのためには会員資質の向上が第一と訴え続けて参りましたが、それにつきましてもロータリーを愛するあまり、或いは時に失礼なことを申し上げたこともあったと存じますが、何卒ご寛容の程お願い申し上げます。

時間切れで積み残しになりました問題に次の三つがございます。

第一は会員数50人未満のクラブでは、三つの具体的理由から出来るだけ早い時期に、50人以上に増強する問題であります。これにつきましては地区会員増強委員会のご尽力で今年の5月末までに29人、率にして4.67%も増やしていただきました。ただ期初で20人台のクラブが2つ、30人台のクラブが6つもあった現状では、1年間で50人未満クラブを皆無



にすることはとても無理であります。引続いてのご努力を期待しております。

第二は会員資質向上のため、クラブ内で行うロータリー情報活動用のマニュアルの作成と、当地区内で指針となるべき職業分類表を作り上げようという問題であります。今年度一応作業にはとりかかりましたが、残念ながら完成にまでは至りませんでした。次年度地

区規定情報委員会では、既に相当の覚悟でこの完成に取り組んでおられますので、遠からず日の目を見ることと存じます。

第三は米山記念奨学会の奨学金を、ロータリークラブの無い国からの留学生にも、支給出来るようにしてほしいという願望であります。これは地区内全クラブの米山奨学委員長会議での要望に基いたものでありますが、既に奨学会評議員会に提案いたしましても一向に進捗しませんでした。更に本問題を推進するため今年度当地区の年次大会に於いて、これが実現を図るため特別決議が採択されました。本決議は奨学会に通知され、その対応を6月30日までに知らせていただくようにしてあります。若しこの願望が実現出来なければ、今後地区としてどう対処したらよいのか、検討しなければならぬと考えます。

終りに臨み重ねて全会員の皆様この一年お力添を賜わり有難うございました。また地区の活動につきましては地区委員の方に、更には幾多助言をして下さった元ガバナーの各位に格段のお世話になりまして、茲に深甚の謝意を表しますと共に、当地区のこの上ともの発展を心からお祈りしご挨拶といたします。